就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	株式会社エヌソリューション十三日町事業所
住 所	八戸市大字十三日町8 村吟ビル2階
電話番号	0 1 7 8 - 3 8 - 0 0 4 0

事業所番号	0210301628
管理者名	夏堀 晃
対象年度	令和4年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

活動場所 八戸市 妙・大久保 地区

実施日程 令和4年1月~10月

実施した生産活動・施設外就労の概要

施設管理作業

利用者数 等

・1日平均作業員 3~7名

<目的>

地域連携活動のねらい

委託作業により利用者の自立した生活への橋渡し

地域にとってのメリット

太陽光発電所の維持管理

対象者にとってのメリット

労働力不足解消と障害者に対する理解

<成果>

実施した結果

平成30年7月より太陽光発電所の草取り・伐採作業を毎年実施。

得られた成果

利用者のスキル向上と就労意欲向上に役立った。 発電所施設の維持管理に貢献できた。

課題点

作業内容によっては労力が必要な場合があり、男性 中心とにる傾向があった。

<活動の様子>





連携先の企業等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価

令和30年より毎年市内2ケ所の太陽光発電所の維持管理として発電パネル下の草取り、フェンス沿いの伐採作業、調整池の泥上げや降雪時の雪下ろし作業を実施していますが、人手不足で困っていました。プロパー社員の負担も 軽減でき、施設の維持管理がしやすくなりました。

今後の連携強化に向けた課題

発電所の広さをカバーするため、刈払機等の器具を使った作業も併用して作業を効率的にすすめられると良い と思います。

沛堆生企業 夕	# # #	切 4 2 夕	営業部長
上	体巧云红铜华油石	1231111	橋本 日出男

就労継続支援A型事業所におけるスコア表(全体)

事業所名	株式会社エヌソリューション十三日町事業所
住 所	八戸市大字十三日町8番地 村吟ビル2階
電話番号	0178-38-0040

(I) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		40
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	0	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		点

①80点 ②70点 ③55点 ④45 点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(Ⅱ)生産活動		
①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支が それぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度に おける生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上		5
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上		
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上ではない	0	点

①40点 ②25点 ③20点 ④5点

	(Ⅲ)多様な働き方(※)		
0	①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		
	就業規則等で定めている	0	
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
0	②利用者を職員として登用する制度		
	就業規則等で定めている	0	
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
	③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
	就業規則等で定めている		
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
	④フレックスタイム制に係る労働条件		
	就業規則等で定めている		
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある		35
0	⑤短時間勤務に係る労働条件		30
	就業規則等で定めている		
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	0	
0	⑥時差出勤制度に係る労働条件		
	就業規則等で定めている		
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	0	
	⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	•	
	就業規則等で定めている		
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
0	⑧傷病休暇等の取得に関する事項	•	
	就業規則等で定めている		
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	0	

小計(注1)

(※)任意の5項目を選択すること

(注1) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

8

点

事業所番号	0210301628
管理者名	夏堀 晃
対象年度	令和 2 年度

	(Ⅳ) 支援力向上(※)		
0	①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
耋	。 参加した職員が1人以上半数未満であった		
耋	参加した職員が半数以上であった -	0	
	②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1	1 回の場合		
2	2回以上の場合		
	③視察・実習の実施又は受け入れ		
	- いずれか一方のみの取組を行っている	0	
	いずれの取組も行っている		
0	④販路拡大の商談会等への参加	•	
1	- 1 回の場合		
2	2回以上の場合	0	35
0	⑤職員の人事評価制度	•	33
	- 人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する 制度を設け、全ての職員に周知している	0	
	<u>⑥ピアサポーターの配置</u>		
t	ピアサポーターを職員として配置している		
0	⑦第三者評価	-	
	・ 過去3年以内の福祉サービス第三者評価を 受審しており、結果を公表している。	0	
	⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
	・ 邪道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた 現格その他これに準ずるものの認証を受けている		
	小計 (注2)	9	,

(注2) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(V) 地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等で の生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインター ネット等により公表している

0 10 点

1事例以上ある場合:10点

項目					点数				
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	40
生産活動	5点		20点		25点		40点		5
多様な働き方	0点		15点		25点		35点		35
支援力向上	0点		15点		25点		35点		35
地域連携活動	0点				10点				10

125		合計	
点	125		

就労継続支援A型事業所におけるスコア表(実績 I ~ IV)

(Ⅰ)労働時間								
前年度(4年度)		-						_
雇用契約を締結していた全ての 利用者における延べ労働時間	16, 530	時間	雇用契約を締結していた質 ベ利用者数	3, 899		利用者の1日の平 均労働時間数	4. 2	時間
(Ⅱ) 生産活動								
会計期間 (1月~ 12月) 前々年度 (3年度)								
生産活動収入から経費を除いた額	1, 087, 227	円	利用者に支払った賃金総額	13, 908, 691	円	収支		円
前年度 (4年度) 生産活動収入から経費 を除いた額	7, 113, 123	円	利用者に支払った賃金総額	14, 127, 106		収支		
		7	(皿)多様な	働き方				
前年度(4年度)における	実 績(全体表「(Ⅲ)多様な働:	きちょの			があること	選択した場合に宝績	を記載)	
①免許・資格取得、検定の ③免許・資格取得、検定の に関する制度を活用した人 ※取得を進めた免許等: 制度の活用内容:	受検勧奨	◎職員◎うち◎うち	形態: 時間: 時 分~	名 に達している 継続している 月 日	◎在宅 ※実施	勤務を行った人 した期間: 月 寺間 (在宅勤務) :	日~ 月 日	名
	THE NAME AND ADD						the her de del	
④フレックスタイム制に係◎フレックスタイム制を活用し※実施した期間: 月 日○就業時間(コアタイム): 6	た人数名	◎短時 ※実施	間勤務に係る労働条件 間勤務に従事した人数 した期間:4月15日~4 時間(短時間):10時00	月15日	◎時差 ※実施↓	出勤制度に係る 出勤制度を活用 した期間:7月1日 寺間(早出の場合)	した人数1~7月5日	3名
就業時間 (コアタイム) : 時 分~ 時 分 財業時間 (短時間) : 10時00分~12時00 就業時間 (早出の場合) : 時 分~ 時 分 職務内容 : 新聞パック作成作業 就業時間 (遅出の場合) : 10時00分~15時15分 職務内容 : 新聞パック作成作業ほか 職務内容 : 新聞パック作成作業ほか								
⑦有給休暇の時間単位取得 ◎時間単位取得を活用した人数 ◎計画的付与制度を活用し: ※取得した制度 「有給休暇の 計画的付与 取得した期間: 月 日~ 取得日数・時間 日	放 名 た人数 名 の	◎傷病 ※取得 取得 就業E	休暇等の取得に関す。 休暇等を取得した人数 した内容: 傷病休暇 した期間: 7月16日〜8 寺間: 時 分〜 大容: 休職	3名	(※) 当診	制度等を活用した任	意の1名の実績を記載	
			(Ⅳ) 支援	力向上				
前年度 (3年度) における実績 (全体表「(IV) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載)								
対象職員数 うち研修受講者数 ※研修名:福祉サービス苦情解 研修講師:青森県適正化委員	□ / 内部 回 3人 3人 決関係者等研修会	◎研修 発表 ※研修、 実施! ※学会 掲載!	誌等名	Fにおいて 回 日 日	◎先進的◎他の事※先進的実施日※他の事	・実習の実施又 事業者の視察・実習を 業所の視察・実習を 内事業者名 (栄) / 参加者数 事業所名 / 参加者数	の実施している 受け入れている	□ 1 人
④ 阪路拡大の商談会等への ◎ 販路拡大の商談会等への ※商談会等名:事業内容説明会 主催者名: 三菱マテリア、 日時 5 内容:事業内容説明・福祉事 業務委託契約の仕組み	参加回数 6回 ・情報交換会 ル(報) 月 2 日 業所活用法	○職員○当該人事評力ち昇当該人	の人事評価制度 の人事評価制度を整備 に人事評価制度を周知し (価制度の制定日 (価制度の対象職員数 給・昇格を行った者 事評価制度の周知方法 場内研修会	プロス フロス 31年 4月 1日 5名 1名	○ピア・○当該!	講している 朝間 月 日〜 寺間	ー している 「障害者ピアサポート研修」	
⑦第三者評価◎前年度末日から過去3年」 福祉サービス第三者評価※評価を受けた日 令和 第三者評価機関:青森県社会	を受けている 🔽 4年 1月 20日	◎ I S 規格 ※認証	標準化規格が定めた のが制定したマネジス 等の認証等を受けてし を受けた日 等の内容	ントいる	(※)実績	(のうち1事例を記載		